

慢性呼吸器疾患看護認定看護師

立石 佳子

慢性呼吸器疾患とは

- COPD、間質性肺炎、肺線維症、気管支喘息、気管支拡張症、肺結核後遺症、非結核性抗酸菌症、肺炎、インフルエンザなどの呼吸器感染症
- 神経・筋疾患による呼吸障害

慢性呼吸器疾患看護認定看護師の役割

- 安定期・増悪期・終末期の各病期に応じた呼吸器機能の評価及び呼吸管理
- 呼吸機能維持・向上のための呼吸リハビリテーション
- 急性増悪予防のためのセルフケア支援

ピックアップ!

慢性閉塞性肺疾患（COPD）

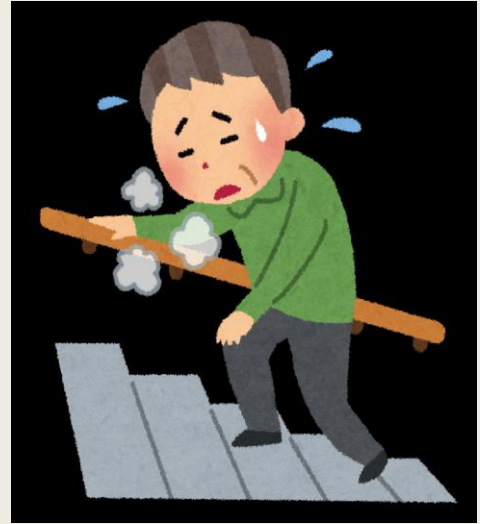
- タバコ煙を主とする有害物質を長期に吸入暴露することで生じた肺の炎症性疾患
- 気流制限を示す
- 気流制限は末梢気道病変と気腫性病変がさまざまな割合で複合的に作用する事で起こる
- 通常は進行性



代表的な症状

■息切れ

歩いた時
階段を上った時等
日中、動いた時
に感じるのが特徴



COPDの治療の目的

- 今の症状を改善・維持する
息切れ、咳や痰などの症状を緩和する。
日常生活をおくりやすくする。
- 将来のリスクを減らす
肺炎など合併症の予防
増悪を起こさない。

患者さん自身が病気の事をよく知り、自己管理能力（セルフマネジメント）を身につけることが大切！

どんな看護をするの？

- 患者さんがセルフケアを行えるように、生活指導を行います。
- 息切れを軽減する日常生活動作の工夫について、実際の動作を踏まえながら説明を行います。
- 急性増悪時の症状の説明や感染予防について説明を行います。

慢性疾患は病気を抱えながら生活していく事になります。
その人らしい生活が出来る様にお手伝いしていきます。

その他の看護について

- 在宅酸素療法を行う方への看護
 - ・ 機器の取り扱い方法
 - ・ 使用時の注意点
 - ・ 緊急時の対応について など説明します。
- NPPV療法を行う方への看護
 - ・ 上記内容に加えて、マスクフィッティングについて説明を行います。
- その他、呼吸器疾患に関連する看護



セルフケア支援で大切なこと

- できないことを見つけるのではなく、やりたいことや目標を持ってもらい、患者さんと共有していく事が大切になります。
- 患者さんだけでなく、ご家族へのサポートも行っていく事も大切になります。

少しでも呼吸器疾患看護に興味を持っていただけると幸いです。



メッセージ

- 息切れや体調の変化に気付きながらも、疲れや年齢のせいかなと思い、病気の罹患に気付かずに日々を送られている方も多くいらっしゃいます。病気の進行を抑えるためにも、早期検診や早期受診が大切になります。
- COPDはタバコが原因といわれますが、必ずしも喫煙者だけが罹患する病気ではありません。気になる症状がある場合は同じように早期検診や早期受診をおすすめいたします。
- 慢性呼吸器疾患では治療に加えて、セルフマネジメント能力を身に付けることが大切です。患者さんが病気とうまく付き合い、増悪することなく、日常生活を送れるようにサポートさせていただきます。